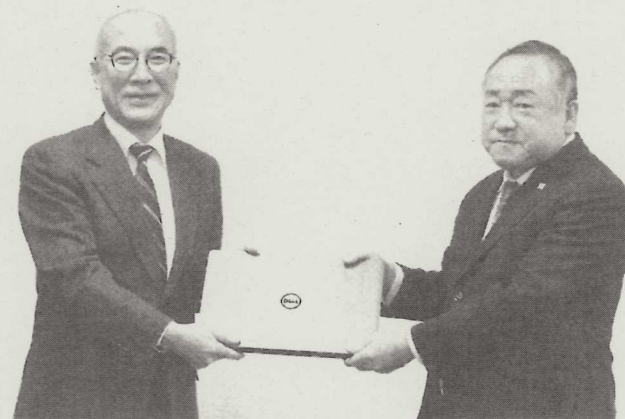


## 「母校に恩返し」

苫高専協力会のアクセスネット パソコン28台寄贈



ノートパソコンを受け取る小林校長（左）とアクセスネットの高石社長

苫小牧工業高等専門学校協力会の会員で、IT企業のアクセスネット（東京）は17日、苫小牧工業高等専門学校にノートパソコン28台を寄贈した。

DX（デジタルトランスフォーメーション）コンサルティングや新入社員、未経験者に向けたIT（情報技術）の教育研修事業などを手掛ける同社。教育研修用に使用していたパソコンを新型に更新するため、同校出身者でもある高石和生代表取締役が寄贈を申し出した。

苫高専はICT（情報通信技術）教育に力を注いでおり、新入生にパソコンの準備を要請。寄贈パソコンはWindows11に対応しており、少しでも保護者

の負担軽減になるよう4月に入学する学生の中から希望者に配布予定だ。

同校の小林幸徳校長にパソコンを届けた高石代表取締役は「苫小牧高専に誇りを持っており、母校に恩返ししたいと思っていた。学校、学生と深い関係を築いていきたい」と話した。